誰もが安心して暮らせる町づくりをめざして

名北福祉会 広報誌

2023 5 May No.60

みんなの夢

2023 年 5 月 1 日発行（年 3 回）　発行所／社会福祉法人 名北福祉会　発行人／黒川　富子
〒 462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:http://meihoku-fukushi.org/

誰もが安心して くらせる街づくりをめざして

みなみ町福祉センター ついに４月オープン

福祉センター玄関

茶食ぼちぼち・ふらっとるーむ入口

ご挨拶

この度、「みなみ町福祉センター」として、長年の念願だった高齢者「グループホーム」「小規模多機能型事業所」開所、「カフェ茶食ぼちぼち」の新装開店、「地域交流スペースふらっとるーむ」開設、「法人本部」が移転し事業を開始しました。

建設に際し、多くのみなさまからのご支援をいただき感謝申し上げます。

名北福祉会の理念である「平和で、子ども、障がい者、高齢者、だれもが安心して住み続けられる街づくり」をめざし、役割を発揮していきます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

理事長　黒川富子

グループホームめいほく・めいほくの家　間取

おひろめ会

3月19日（日）おひろめ会を行いました。

地域の方、利用者や家族の方等、300名余と予想以上にきていただき嬉しい限りでした。

今回、OBの方で入居される方もみえて懐かしいOB会になっていました。

広くなったカフェ茶食ぼちぼちでは、お茶と音楽療法士の方の生演奏でホッとしていただきました。

グループホームめいほく

入所できる事業所開所

念願だった高齢分野初の入所できる事業所が4月に開所しました。

今まで一人ひとり違う人生を送ってきた方たちが一緒に暮らすことになります。慣れない環境に戸惑われることもあるでしょうが、その方のこれまでの生活習慣を大切に、自分でできることはやっていただき、感染予防に気を付けながらですが、友達や家族が気軽に会いに来ることができる、外に出かけご近所さんや保育園の子ども達と顔を合わせ挨拶ができる、そんな毎日を送りたいですね。

めいほくの家

安心を届けられる施設を

23年4月1日より、デイサービス東町から小規模多機能型居宅介護「めいほくの家」へ移行をしました。小規模多機能はデイサービスである通いを中心に、ヘルパーやお泊りを組み合わせながら、利用者さんの在宅での生活を支援する事業所です。利用者さんの思いや願いを大切にしながら、24時間365日、在宅での安心を届けられる施設を目指します。

新規事業に向けて職員研修会

地域交流スペースふらっとるーむで、高齢部の研修を全8回、合計17日の日程で行いました。介護保険制度から始まり、介護事業の運営、大切にしたい介護観について、グループワークなどを通して共有しました。また、以前よりお世話になっている外部講師を3名招き、より実践的な内容を学びました。参加した職員から積極的に発言、質問が飛び交い、有意義な研修となりました。

カフェ茶食ぼちぼち新装オープン

広くなってゆっくり過ごしていただけるようになりました。みなさんのお越しをお待ちしています。

カフェ茶食 ぼちぼち

開店時間	月～金 7:30 ～ 16:30 土・祝 8:30 ～ 15:30 定休日　日曜日

モーニング 開店～ 11:00

ランチ 11:30 ～ 14:00

高齢部

文化的な取り組みは生活に潤いが生まれます

めいほく町南の家

おもちゃの会&個別リハビリ！

月2回のおもちゃの会では、カラフルなはしごを組み合わせたり、木製の魚釣りをしたり・・いろいろな玩具を2か月交代に貸し出してくれ、一緒に遊び方を教えてくれます。

「腕を上にあげますよ～」と、個別リハビリが必要な方に、理学療法士がその人に合ったプログラムを実施し好評です。

デイサービス町南

たのしいおでかけ

私達がこの時期に積極的に取り組んでいる事は、暖かい時期にピッタリな外出レク。コロナ禍で色々な事が制限されている中、感染にも配慮をしながら神社・公園と様々な所へ出掛けています。「すごい綺麗だ！」「こんな所あったんだね！」と事業所内とは違う笑顔が見られる素敵な時間です。

デイサービスへいわ

中区にある「デイサービスへいわ」です

法人合併で、名北福祉会の事業所として、継続させていただくことになりました。

4月より心機一転、地域密着型のデイサービスに切り替わりました。

「元気な時から、寝たきりになっても安心して通えるデイ」、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を念頭に置き、スタッフ一同、これからも利用者の方々と過ごす時間を大切に、地域に根ざした福祉施設として、頑張って行きたいと思っています。

どうぞよろしくお願いします。

へいわの貸会議室

地域生活部
一人ひとりの願いに寄り添って

ヘルパーステーションそら

楽しみな外出 うれしい言葉！

桜が咲き終わり、平安通～上飯田の通りのハナミズキが綺麗に咲き始めました。

ここを通りながら仲間たちと「きれいだね～」と話をしながら作業所へ向かいます。

コロナ過の時には、行かないようにしていた所にも行けるようになり、休日を楽しみにされています。

数年前から、障がいのある仲間のご家族の支援に入ることが増えました。高齢のご夫婦、高齢のお母さんと障がいの息子さん、「ヘルパーさんが来てくれるから何とか暮らしていけるわ」と言ってくださいます。「また、伺いますね～」と、嬉しい気持ちになりました。

ケアプラン町南

私の未来予想図

伊藤　由利子

ケアプラン町南で介護支援専門員をしています。

定年まで守山区の介護保険事業所に勤め、地域の皆様に助けられ勤めてきましたが我が住む北区での知識は全くなく、福祉を学びたいと思い名北福祉会で仕事をさせていただいています。昨年、焼き芋会にて子どもから若いお母さん、高齢の方、地域の方々の笑顔に楽しくお手伝いさせて頂きました。そんな笑顔が広がり素敵な北区になっていくのが私の未来予想図です。

相談支援センターめいほく

コミュニケーションを大切に

高瀬　智砂子

現事業所は、2019年に二事業所が併合され新たに開始しました。現在、三名の相談支援専門員が従事しています。

相談支援の仕事は、障害を持つ方やそのご家族の相談に応じ、障害福祉サービスの情報提供や助言、計画作成、調整等です。知的、身体、精神障害、難病の方に対応しています。

心がけているのは、ご本人の強みや笑顔を引き出す事に視点を持ち、将来の見通しを立て関係者を拡げていく事です。知識を深め、コミュニケーションを大切にしています。

障がい部

自分らしさをたいせつに

友の家ホーム「にほ」開所しました

友の家ホーム「にほ」お披露目会

3月25日、多くの皆様に足を運んでいただきありがとうございました。

日常的に車椅子を使用する方々にも安心して暮らしていけるホームの仕様をご覧になっていただけたと思います。介助を受ける人も、する人も双方の負担を軽減する目的で機械浴も導入しました。「誰もがその人らしく暮らしていける」ことへの支援を、入居者の皆さんには勿論、今後は地域で暮らす身体障害のある方々にも短期入所等の利用を通してお役に立てればと考えています。

「にほ」南側

家族の思い・寺澤さん

重症心身障害者に特化したホームを多くのなかまや家族が待ち望んでいました。この度入居することになった息子は人生最大の環境変化になります。家族依存だった生活から共同生活になる不安もありますが、少しずつ自立して成長してほしいという期待の方が大きいです。職員さんや仲間の方々に支えていただき心身共に豊かな生活が送れることを願っています。皆様よろしくお願いします。

リビング

家族の思い・加藤さん

我が家の長男が独立する時が来ました。一人っ子故、いずれ人様に委ねる子だと思って育ててきましたが、いざとなると子離れできるか不安になり「しっかり」と自分に言い聞かせる毎日です。本人は親が思うよりたくましく親離れできるのでは？そうなってほしいと願っています。

機械浴

なじみのなかま職員の皆さんと生活できることは親として本当に安心しております。いつか本当に一人になった時にもたくさんのなかまや第二の父母となる職員さんたちに囲まれ生活していけることは私たち夫婦にとって何よりの喜びです。お父さんお母さんも健康に気を付けて、週末に帰ってくるのを楽しみに待っていますね。「我が子よたくましくしく生きろ、これからの人生あなたにとって幸あれ！」

皆さんどうぞよろしくお願いします。

居室

暮らしの場 & 放課後等デイサービス

名北福祉会には、日中事業所のほかにも障害がある方たちを支えている部門があります。

障がいをもった、学齢期・思春期のこどもたちが遊びや活動を通して、ゆたかな放課後や余暇を過ごす「のびのびクラブ」。

障がいを持った方たちの暮らしの場や余暇を支えているグループホームの「町北ホーム、めいほくホーム、友の家ホーム」があります。

のびのびクラブ
作品に想いを込め、感受性を豊かにします！

のびのびクラブ
作る楽しさ、食べるおいしさを感じられるように…

町北ホーム
心のこもった手作りケーキ！
お誕生日おめでとう !!」

めいほくホーム
「1 人じゃなく、みんなで楽しむぞ！！！

日中事業所の機能分化をすすめます

第5次中長期計画の中で、大きな柱になっている「日中事業所の機能分化」（以下、日中機能分化）について、ご紹介いたします。

機能分化とは

障がい部にある4つの生活介護事業所は、1990年代の小規模無認可作業所づくり、居場所づくりの中から生まれてきました。そこには共同で事業することへの大変な努力がありました。その結果、卒後の働く場、居場所の保障という大きな前進ができました。

一方でどこの事業所にも、若い方から高齢者、車いすの方から行動障害の方、どこの事業所も製菓事業、生活介護事業（B型事業もなくなりました）…というように、事業所の特色（活動や事業）が見えにくいという課題が残りました。そして福祉の市場化が進み、巷には事業所が増え、どの事業所にも「もっと給料がほしい」「他の事業所の活動がしたい」と退所される仲間も出てきました。

日中事業所の機能分化で解決していく課題

①一人ひとりの仲間のニーズにもっと丁寧に応える
②「はたらく」ニーズに応える
③職員の得意を生かし、人材確保・育成に生かす
④財政の健全化をはかる

めいほく鳩岡の家
クッキー、カフェ、軽作業に加えて新たに地域誌のポスティングを始めました。！

めいほく共同作作業所
パンクッキー・リサイクル・畑、ぼちぼちカフエなど仲間の力が発揮でき、やりがいがもてる場と活動をつくります

日中機能分化のめざすところ

そこで、私たちは仲間のねがいが実現できる活動を十分にできているだろうか、例えば地域の「はたらく」ニーズにもっと応えられないだろうか。1事業所では難しいけれど、施設の枠を超えた法人のスケールメリットや仲間も職員も得意なこと、やりがいをもっと生かし、それが人材確保・育成につながらないだろうか、そんな思

友の家
どんなに障害が重くても、慣れ親しんだ地域で自分らしく過ごします！

めいほく鳩岡の家
障がいの重さに関係なく、「私」が選べる仕事づくりをめざします！

いの中で、構想してきたのが「日中機能分化」です。

今後の具体的な計画の中では、1年後のぼちぼちカフェ（みなみ町福祉センター）のB型化、農業（めいほく共同作業所）、リサイクルセンター（めいほく共同作業所分場）、芸術活動（わくわく安井の家の隣）、クッキー事業の統一（めいほく鳩岡の家）、高齢の仲間の活動・軽作業センター（わくわく安井の家）、医療連携に特化した事業（めいほく友の家）など、各事業所の機能を明確にし、新たな活動の検討・準備を進めてきています。

「私は屋外で活動したい」、「僕は給料が欲しいから、B型にチャレンジしたい」など、仲間にニーズによりあった活動の保障を目指しています。

安井の家
創作活動
どんな障害を持っていてもその人の個性を自由に表現できます。

安井の家
空き缶つぶし
周りの仲間に応援してもらい1缶1缶足で潰しています。

その実現のためには…

このことを実現するためには、仲間も家族も職員も、従来の事業所の枠内ではなく、職員の人事異動、仲間の体験実習・相互利用、家族会の集合体など、新たな試み、そして視野を持つことが大切です。「めいほく障がい部はひとつ」を合言葉に、仲間たち、職員、家族が生き生きと活動できるフィールドを、議論し、作っていきたいと考えています。

保育部

「育ち合い」を大切に

めいほく保育園

げんもりレンジャー参上!!

子どもたちに「食の大切さや体の大切さ」を伝えたい、自分を大切にしてほしいという思いから、保健と給食担当者が合同で2022年度は、元気もりもり「げんもりレンジャー」の取り組みを行ってきました。

①運動（パープル）②手洗いうがい（ブルー）③栄養（イエロー）④睡眠（グリーン）⑤うんち（オレンジ）のレンジャーになり毎月食べるときの良い姿勢や早寝早起きなどのテーマでお部屋を回りました。うんちオレンジは各部屋の担任にやってもらい、子どもたちも知っている先生がレンジャーになって登場すると大盛り上がりでした。子どもたちからも「つぎはげんもりれんじゃーいつくるの？」といった声があったり、子ども同士で食べる姿勢のことなど話していたりしていて、子どもたちに伝わっているのを実感しました。

今後も定期的に「げんもりレンジャー」を登場させて、繰り返し楽しく、健康について伝えていきたいと思います。

第二めいほく保育園

○○ちゃんのパパママ「絵本読んで！」

0歳児の子どもたち。4月、初めての保育園、はじめての保育士に出会い、戸惑い泣けてしまう姿がありました。丁寧な関わりの中で子どもとの関係を築いてきました。今では保育士はじめ子ども同士、保護者の方々とも楽しくやり取りを楽しんでいます。

3月のある日、子どもたち同士で、まてまてと追いかけあったり、「いないいないばあ」と見合いっこしたり、時には優しくハグしたりとほほえましい姿がありました。また、お迎えの時に保護者のところに子どもたちが、お気に入りの絵本を読んでほしくて持っていき保護者を巻き込んでいます。

子どもたちの成長した姿にあたたかく関わって下さった保護者の方々に感謝しています。

なえしろ保育園

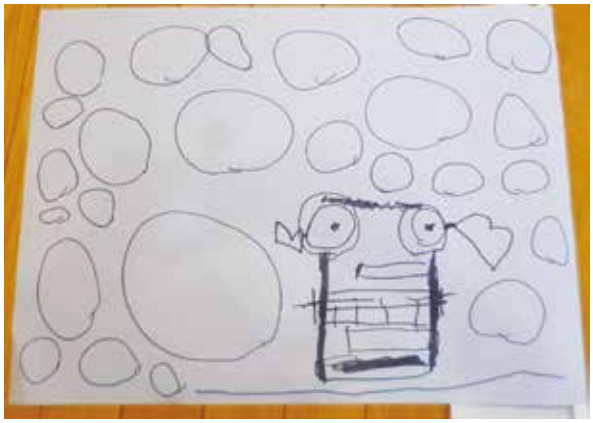
おしゃべりしながら思いを描く

なえしろ保育園では、乳児のころから、子どもの思いに寄り添いながら描画活動に取りくむことを大切にしています。

Hくんは、お部屋に大好きな友だちの存在があり、毎日の遊びや生活の中で友だちとの関わりが広がっていきました。そして、指先や身体使いが変わり、大きくなっ

てきました。そんなHくんは楽しかったことや心に残ったことを表現したくなり、「絵を描きたい」と言ってくる事が増えました。

みんなで取り組んだ運動会の玉入れの描画では、画用紙いっぱいに玉を描き、登場したザリガニのママも描きました。目を輝かせ、



大人や友だちに自分の思いを話しながら描いていました。これからも、毎日の保育園の暮らしの中で、楽しい経験を重ね、いろんな思いをおしゃべりしながら絵を描いていくことを大切にしていきたいと思います。

やだ保育園

子どもの気持ちをみんなで見守って…

異年齢クラスの、昨年4歳だったTくんは、お兄ちゃんや年長「らいおん」の子と遊ぶことが大好きでした。年長さんが卒園して4月、「らいおんロス」になりました。その気持ちを紛らわすかのように、毎日お台所（給食室）に来てカウンター越しに職員とおしゃべり。台所横に掲示してある、その日の食材の絵カードを栄養素ごと

にはる『栄養ボード』に、食材カードを貼ることを自分の役割のようにしていました。そんなT君の様子を見守ること1～2か月、台所に来るTくんの姿は影をひそめました。新たな仲間や遊びが広がったようです。

台所を心の居場所にしながら、新たな仲間関係をみつけたT君。暮らしの中に子どもたちのいろんな居場所があり、その時々の子どもの気持ちの有り様をみんなで見守っていく保育園でありたいと思っています。

めだか保育園

同じ部屋で過ごした1年生にであって

3月、年長さんが、「1年生との交流会」に出かけました。「ふ～っ」と大きく深呼吸。教室に入るとすぐに「どこの保育園？」「お名前教えて？」と声をかけてくれ、笑顔いっぱい。じゃんけんゲームや、授業で作った風車で遊んだり、得意技を披露してもらい、目をキラキラさせて見ていました。園に戻り「さきちゃんに会えて嬉し

かった。」と、昨年まで同じ部屋で過ごした1年生に手紙を書いている姿がありました。

今年は5名の年長児ですが、お部屋の異年齢のみんなから頼られる憧れのお兄ちゃんお姉ちゃんで、小学校に行ってもずっとずっと繋がっています。小学校に行ってもいつでも保育園の仲間のお部屋に遊びに来てね。

くさのみ保育所

食べることが楽しくなる給食づくり ～ごまっていいにおい～

見た目から「これいらない」と言ったり、手を付けようとしなかったりする子どもたち。小さい頃は、当たり前の姿ですよね。

ほうれん草のごま和えといった副菜は多く残りました。でも、何とか楽しい雰囲気の中で「食べてみたいなあ」と思えるように、クッキングを考えました。例えば、子どもたちと一緒に味付けをした

り、すり鉢を一人一個用意し、子ども自身でごますりをし、ごま和えにして食べたりしました。このごますりが子どもたちには大ヒット！「いいにお～い！」「ゴリゴリ（する！）」と楽しく取り組む

姿が見られ、今年は少しずつ野菜への抵抗感が減ってきているように感じています。

これからも子どもたちの姿から、楽しく食べられるような工夫をしていきます。

めいほくつぼみ保育室

ブロックあそび たのしいよ

めいほくつぼみ保育室は、乳児10名定員の小さな保育室です。大人との関わりを大切にしながら、一人ひとりが安心できる環境やジブンデという気持ちを大切にしています。

寒い時期に室内では、ブロック遊びが人気でした。その中で、あそび方もどんどん広がり自分の好きな車や電車を上手に作ってみせてくれます。いつのまにか1人でつくっていたブロックが合体されて大きなものになって嬉しそうです。「乗せてください。」と保育士が声をかけると「いいよ！」と遊

びが広がります。また、ブロックを携帯電話にみたて「もしもし」「ハイ！」とやりとりをまねて子ども同士でも楽しんでいます。

新任研修会開催2023年度

3月4日（土）めいほく保育園3階ホールにて行いました。

参加者は、高齢部の新規事業により正規・契約職員14名の参加、保育部6名、障がい部3名、地域生活部1名の24名でした。

法人歴史をDVDで見た後、理念や就業規則、各分野からの報告、各分野の先輩職員からのエピソード、グループ交流を行いました。

参加した職員の研修レポートから

全体の感想

- 法人の理念、大切にしていることをあらためて確認することができてよかった。
- 仲間を尊重する気持ちを忘れずに日々の業務に取り組みたいと再確認できた。
- 名北福祉会をくわしく知ることができてよかった。同じ法人で働く方たちと少しでも話ができたことでこれから頑張ろうという気持ちになれた。
- 自分が就く分野以外の所の話も聞くことができて一体感を感じることができた。

理念・歴史を聞いて

- 保育をはじめとして名北福祉会は地域と協力して成長してきた法人であることを学び、人とのかかわりが大切であることを知ることができた。

- 利用者や家族のことを第一に考えており、私もその活動に参加できるという点で頑張っていきたいと思った。
- 困っている人が門をたたけば何かできることはないか、皆で一緒に考えることを学んだ。

各分野の報告を聞いて

- どの分野の方も利用者さんへの熱い思いがあって素敵だと感じた。
- 保育も障がいも高齢も根っこは一緒であると感じた。目の前の利用者さん1人1人に対してどう理解してどう接していくのか、どの現場も基本は一緒であり共有し話し合うこれからが楽しみ。
- 障がいのある仲間たちが「主人公」だということを忘れずに仕事をしていきたい。

先輩のメッセージから

- 自分で抱え込むのでなく人に頼ることも大切にして働いていけたらよいなと思った。
- 分からないことを分からないままにせず、新人のうちにたくさん失敗をして学んでいきたいと感じた。

交流の場では、

- 交流の場面でいろんな世代の人がいてとても新鮮だった。
- 外国籍の方から一生懸命仕事をしている思いが伝わった。
- 利用者の方ができることは自分でしたい気持ちをフォローしたい」と思った。

めいほく友の家

めいほく共同作業所

めいほくホームあさひ

友の家ホームいっぽ

友の家ホームにほ

第二めいほく保育園

町北ホームゆうやけ

のびのびクラブ

わくわく安井の家

めいほく共同作業所分場

めだか保育園
子育て支援拠点事業めだかひろば

憩いの家

めいほく鳩岡の家

なえしろ保育園
子育て支援センターなえしろ

西部医療センターくさのみ保育所

デイサービス町南

めいほく町南の家

グループホームめいほく
めいほくの家

名北福祉会本部
おたすけくらぶ

相談支援センターめいほく
ヘルパーステーションそら

カフェ茶食ぼちぼち

地域交流センター
ふらっとるーむ

ケアプラン町南

めいほくホーム大和・大夢

めいほくつぼみ保育室

めいほく保育園
子育て支援センターめいほく

デイサービスへいわ

東町交流センター

やだ保育園
子育て支援拠点事業やだっこひろば

名北福祉会　本部	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-910-3066	FAX：052-912-5188
めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-52-2 TEL：052-911-1627	FAX：052-911-1430
第二めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 1-12-2 TEL：052-914-9554	FAX：052-914-9567
なえしろ保育園	〒 463-0042	名古屋市守山区野萩町 2-61 TEL：052-793-7546	FAX：052-793-7547
めだか保育園	〒 463-0027	名古屋市守山区弁天が丘 1106 TEL：052-798-7077	FAX：052-798-7066
やだ保育園	〒 461-0040	名古屋市東区矢田三丁目 3-44 TEL：052-768-6510	FAX：052-768-6810
西部医療センターくさのみ保育所	〒 462-0057	名古屋市北区平手町 1-1-1 TEL：052-915-3106	FAX：052-915-3106
めいほくつぼみ保育室	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL：052-991-1646	FAX：052-325-2266
めいほく共同作業所	〒 462-0802	名古屋市北区上飯田北町 4-39 TEL：052-916-4470	FAX：052-916-4472
わくわく安井の家	〒 462-0023	名古屋市北区安井 4-12-7 TEL：052-934-7461	FAX：052-934-7462
めいほく友の家	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-124 TEL：052-902-7707	FAX：052-902-7717
めいほく鳩岡の家	〒 462-0025	名古屋市北区鳩岡町 1-1-5 TEL：052-911-0055	FAX：052-911-1155
友の家ホームいっぽ	〒 462-0065	名古屋市北区喜惣治 1-384-1 TEL：052-982-7681	FAX：052-982-7682
友の家ホームにほ	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-123 TEL：052-908-6850	FAX：052-908-6851
めいほくホーム大和	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL：052-911-2515	FAX：052-911-2515
めいほくホーム大夢	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL：052-916-7008	FAX：052-916-7008
めいほくホームあさひ	〒 463-0070	名古屋市守山区新守山 2205 TEL：052-799-5070	FAX：052-799-5071
町北ホーム　ゆうやけ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 15-10 TEL：052-715-5533	FAX：052-715-5534
のびのびクラブ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-21 TEL：052-791-7011	FAX：052-739-7845
相談支援センターめいほく	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL：052-911-1600	FAX：052-325-6222
ヘルパーステーションそら	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL：052-910-0712	FAX：052-325-6222
ケアプラン町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 1-1 TEL：052-795-7571	FAX：052-726-6750
デイサービス町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL：052-795-3186	FAX：052-799-3666
めいほく町南の家	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL：052-778-7168	FAX：052-799-3666
めいほくの家	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-917-4152	FAX：052-910-0713
グループホームめいほく	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-508-7150	FAX：052-910-0713
デイサービスへいわ	〒 460-0021	名古屋市中区平和 2-2-36 TEL：052-331-6660	FAX：052-322-7244
カフェ茶食ぼちぼち	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-911-5188	
地域交流スペースふらっとるーむ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-910-3066	FAX：052-912-5188
おたすけクラブ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL：052-910-3066	FAX：052-912-5188
憩の家	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 2-6-2	
東町交流センター	〒 462-0803	名古屋市北区上飯田東町 1-10-1	

きょうされん第46次国会請願にご協力ありがとうございました

この間、旧優生保護法による強制不妊手術裁判、65歳問題の天海裁判も勝訴を勝ち取ってきています。引き続き、みなさんのご支援をいただきながら、障害のある人たちの権利保障の運動を進めてまいります。

障がいのある人の暮らしや社会参加、人としての尊厳が守られる政策が実現できるように、皆様から頂いた署名を力に訴え続けていきます！！

「介護保険制度の改善を求める請願署名」ありがとうございました。

今回の署名は2023年5月22日に開催される請願署名集会にて、署名提出行動が行われます。利用料2割・3割負担の対象者拡大、要介護1、2のサービス削減、など、負担増と給付削減の提案が目白押しです。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を求め請願していきます。

未経験者歓迎

介護スタッフ募集中！

2023年4月オープンした新規事業所で一緒に働きませんか？

事業内容

・グループホームめいほく（認知症対応型）・めいほくの家（小規模多機能事業所）

お気軽にお問合せ下さい！　名北福祉会高齢部　052-508-7150　担当：光岡

場所
北区上飯田南町

名北福祉会を支える会の会員募集　夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会費	正会員	1ヶ月	1口	500円（5口以上）
	賛助会員	1ヶ年	1口	1000円
	団体会員	1ヶ年	1口	5000円

〈振込先〉
郵便振替口座
加入者名　社会福祉法人名北福祉会を支える会
口座番号　00860-8-127322